

たんぽぽだより



＜発表会＞各クラス、曲を聴いたり踊ったりして、踊りたい曲を自分で決めました。踊っていく中で子どもたちから出てきた動きのアイデアを取り入れたり、最後のポーズを子どもたちと一緒に決めたりしました。はじめは、緊張して踊り出せなかったり動きが止まってしまうたりする姿も見られましたが、見せ合いのなかで他クラスや異年齢の友達から、拍手をしてもらったり、たくさん褒めてもらったりすることで、少しずつ自信がつき笑顔で楽しく踊ることができるようになりました。曲の途中での場所の移動では、練習を重ねていくなかで、友達同士で教え合う姿も見られるようになりました。「発表会まだ?」「早くおうちの人に見てもらいたいなあ」と、どの子ども当日を楽しみにしていました。当日は、いつもと違う雰囲気の中で緊張する様子も見られましたが、思いのままに表現し、元気いっぱい踊る姿からは、成長を感じました。

＜もちつき＞ゆり組さんの餅つきの様子を見学しました。餅をつくタイミングに合わせて「よいしょ!」と掛け声をしたり、「頑張れ〜!」と応援したりしていました。きなこ、醤油、何もついていない餅の3種類を食べる中で、「私はきなこが好き」「ぼくは醤油かなあ」などと友達と話しながら、つきだての餅の感触や食感を味わいました。日本の伝統行事に興味をもち、貴重な経験ができました。



11月



12月

＜サンタさんごっこ＞たんぽぽ組に、小さなサンタがやってきました。サンタの帽子を被って、白くて大きな袋にぬいぐるみやスカートなどをたくさん詰めて一生懸命運んでいました。「サンタさん!何を持ってくの?」と保育者が聞くと、「プレゼントだよ」と、こっそり教えてくれました。子どもたちも、サンタが自分のところへプレゼントを届けにきてくれる日に期待をもちながら、サンタになりきって遊ぶことを楽しんでいます。イメージ遊びは心を豊かにします。

＜クリスマス会＞自分だけの三角帽子を作り、歌を歌ったり踊りを踊ったりして当日を楽しみにしていた子どもたち。キャンドルセレモニーでは、火の神様に頂いた「元気の火」を、静かに見つめる厳かな時間を過ごしました。その後は、サンタさんと一緒に歌ったり踊ったりして楽しい時間を過ごしました。プレゼントをもらい、ワクワクしながら開けるとコマが入っていて大喜び。早速こま回しに挑戦していました。回せるまで何度も挑戦する姿も見られ、サンタさんからのプレゼントは遊びへの意欲へつながっています。

＜誕生会＞みんなの前で「クラス・名前・好きな果物(11月)クリスマスにサンタさんからもらいたい物(12月)」を発表しました。11月は、空き容器で作ったマラカスやギターなどの楽器で、音の聴き比べゲームをしました。よく耳をすませて聴く姿が見られました。12月は、じゃんけん列車をして遊びました。音楽が止まったら近くの友達とじゃんけんをして、じゃんけんに負けたら友達の後ろにつくというルールを守りながら、初めは一人だっただけ列車が、徐々に長くなっていくのを楽しみました。保育者からの出し物は、鈴やタンバリンなどの楽器を使って「あわてんぼうのサンタクロース」の演奏をしました。